

目 次

[英語版] 訳者の注記	3
初版(1934年)序文	11
英語版(1958年)序文	13
ドイツ語第2版(1963年)序文	25

第1部 科学の論理序説

第1章 若干の基本的諸問題の検討	30
1. 帰納の問題	30
2. 心理主義の排除	35
3. 理論の演繹的テスト	36
4. 境界設定の問題	39
5. 方法としての経験	47
6. 境界設定の基準としての反証可能性	48
7. 「経験的基礎」の問題	52
8. 科学的客観性と主観的確信	54
第2章 科学方法論の問題について	59
9. 方法論的決定が不可欠である理由	59
10. 方法論への自然主義的アプローチ	61
11. 約束としての方法論的規則	64

第2部 経験の理論の若干の構成要素

第3章 理論	70
12. 因果性, 説明, 予測の演繹	71
13. 厳密な普遍性と数的な普遍性	74
14. 普遍概念と個体概念	77
15. 厳密な普遍言明と厳密な存在言明	83

16. 理論的体系	86
17. 公理体系解釈のいくつかの可能性	88
18. 普遍性のレベル：否定式	91
第4章 反証可能性	95
19. いくつかの約束主義的反論	95
20. 方法論的規則	99
21. 反証可能性の論理的検討	103
22. 反証可能性と反証	105
23. 出来事と事象	107
24. 反証可能性と無矛盾性	112
第5章 経験的基礎の問題	114
25. 経験的基礎としての知覚的経験：心理主義	114
26. いわゆる「プロトコル文」について	116
27. 経験的基礎の客観性	120
28. 基礎言明	125
29. 基礎言明の相対性. フリースの三者択一の解決	129
30. 理論と実験	131
* 追記(1968年)	140
第6章 テスト可能性の度合	141
31. プログラムと例証	141
32. 潜在的反証者の諸集合はいかにして比較しうるか	143
33. 部分集合関係によって比較される反証可能性の度合	145
34. 部分集合関係の構造. 論理的確率	147
35. 経験的内容, 内含関係, および反証可能性の度合	150
36. 普遍性のレベルと正確さの度合	153
37. 論理的範囲. 測定の理論についての注記	155
38. 次元への関係づけによって比較されるテスト可能性の度合	158
39. 曲線の集合の次元	164
40. 曲線の集合の次元数を減らす二つの方法	165
* 追記(1968年)	169
第7章 単純性	170

41. 単純性の審美的・実用主義的概念の排除	171
42. 単純性の方法論的問題	172
43. 単純性と反証可能性の度合	176
44. 幾何学的図形と関数の形式	179
45. ユークリッド幾何学の単純性	180
46. 約束主義と単純性の概念	181
* 追記 (1968年)	182
第8章 確率	184
47. 確率言明の解釈の問題	185
48. 主観的解釈と客観的解釈	186
49. 偶然論の基本問題	189
50. フォン・ミーゼスの度数理論	190
51. 新しい確率論のためのプラン	193
52. 有限集合内における相対度数	196
53. 選択, 独立, 無影響性, 無関係性	197
54. 有限系列, 順序選択と近傍選択	199
55. 有限系列における n 自由	200
56. 切片の系列, 二項公式の第一種	205
57. 無限系列, 度数の仮説的評価	207
58. 偶然性の公理の検討	212
59. 偶然的系列, 客観的確率	216
60. ベルヌーイの問題	217
61. 大数の法則 (ベルヌーイの定理)	222
62. ベルヌーイの定理と確率言明の解釈	225
63. ベルヌーイの定理と収束の問題	227
64. 収束公理の排除, 「偶然論の基本問題」の解決	230
65. 決定可能性の問題	237
66. 確率言明の論理形式	239
67. 思弁的形而上学の確率論的体系	245
68. 物理学における確率	248
69. 法則と偶然	255

70.	ミクロ法則からのマクロ法則の導出可能性	259
71.	形式的に単称的な確率言明	262
72.	範囲の理論	266

「訳者あとがき (I)」

